



Vol.11

Q 同じ年で未婚の友人に子宮頸(けい)がんが見つかったと聞いてショックを受けています。彼女は妊娠できるのでしょうか？ 最近、子宮頸がんのワクチンの情報をよく見かけます。ワクチン接種を受けたほうが良いのでしょうか？

(29歳・西宮市)

年に一度は子宮頸がん検診を 初期がんなら術後も妊娠出産は可能

A 子宮頸がんの場合、どの程度進行しているかによって妊娠の可能性が違ってきます。初期がんの場合は、頸部の一部を円錐(えんすい)状に切除するだけで、妊娠する場所である子宮体部を温存できますので、妊娠・出産は可能です。ただし、子宮の入り口部分を切除した場合は、精子が子宮内に上昇しにくくなり、不妊原因となるケースもありますが、人工授精で対応できます。また最近では、進行がんに関しても、広範囲の頸部切除で子宮体部を温存して妊娠を可能にする手術にも成功しています。

子宮頸がんのワクチン接種は原則、中高生が対象になると思います。ご相談のケースでも接種は可能ですが、成人女性の場合は、毎年のがん検診と頸がんの原因となるHPV(ヒトパピローマウイルス)感染の有無の検査を受ければ十分でしょう。

●セミナーのお知らせ

22日(土)15~18時、同クリニックARTホールで。妊娠の基礎や不妊症の詳しい知識、正確な情報が得られます。参加無料、要予約。
西宮市松籟荘10-25、
TEL 0798・54・8551。
メール jart@iris.eonet.ne.jp

回答者

徐クリニック
ARTセンター

院長 徐東舜

1987年大阪大学卒業。医学博士、
工学士、生殖医療指導医。
<http://www.joclinic.jp/>



徐先生に聞きたい不妊に関する質問をお寄せください→ Fax 06・6341・3936